

ささえる

2 2026
月号
No.77



昨年11月に開催した“気ままに・わが町トーク”の様子

令和7年第4回定例町議会は11月28日～12月12日までの15日間開催



議会報告会『気ままに・わが町トーク』 **P2～**



補正予算と条例改正の内容 **P4～**



令和7年第3回臨時町議会 **P6**



議員が一般質問！町政を問う **P7～**

会場に足を運んでくださった皆様、ありがとうございました！
数多くの貴重なご意見を抜粋して、内容を掲載いたします



移住定住

病院もスーパーも
近くにあって住みやすい。

立地的に吉富町は非常に便利な
ところにあると感じた。
小倉に出れば、新幹線で南北に
も行けて便利がいい。
海もあれば山もあり、そこそこ海
産物と山の幸もある。

町に住みたいという人に対してア
ピールになるアイテムを吉富町は
いっぱい持っている。



あまり吉富と中津の
区切りを意識したことがない。
今していることだけではなく、
過去にも“こういう時に
こういうことしました”という
実績が信頼になって、
住む場所に使われると思う。
引っ越し前に知りたかった。

吉富町のホームページに
引っ越し専用ページがあると便利。
小学校はこの地区からなら
徒歩何分とか、ここの保育園は
今空きが何人あるとか。
目的に関連する様々な情報が
全部わかるようなページで一元化
してもらえると非常に助かる。

関東圏や関西圏に住む、
定年を控えて移住先を求めている
人たちに対して、ふるさと納税の
返礼品で「一回吉富町に来ませんか」と
町を案内するようなことはどうか。
吉富町は日豊本線一本だが、
新幹線や空港といった大動脈に
つながり発展する可能性が
本当にあると思う。

子育て

ひだまり食堂は良い企画。
子どもも楽しいと言っている。

子ども食堂で子どもと触れ合うと、
大人ともつながりが生まれる。

ひだまり食堂で食事をする前に
勉強会もしてほしい。

中学校の給食費半額助成が
とても助かった。

学校で給食を作ってくれる
からおいしい。



地域振興

イベントが多くなったので楽しいけど、
役場の職員が疲れていないか心配。

小さい町だからこそ、若い方との
距離感も近いと思う。金融機関も
交えて事業者の方とかを
マッチアップする場をつくるなど、
この町だからこそできることが
あると思う。

店ができなくなり、誰か次世代の方
が引き継いでくれるのであれば、
無償で差し上げる。

40～50代が楽しめる
企画があればいい。

ヨシトミガーデンは、最終的には
決まった人しか来なくなる
ような気もする。

道の駅とは言わないが、
まとまって販売できる場所が欲しい。

空き家がいくらでもあるのに、
なぜ田んぼをつぶして
家を建てるのか。

ヨシトミガーデンは楽しい。

若い人がお店を開いているのを
最近よくインスタとかで見
て行くし、吉富にしかない店がある
と“じゃあ、行ってみよう”となる。

新規創業の支援はものすごくある
が、既存事業者への支援をもう少し
してほしい。後継者が帰ってきたら
出すとか次の世代の経営者を育て
るような支援。

田んぼの耕作をやめて
店などを考えたいが
農振の関係でできない。

その他

中高生が自転車に乗りながらスマホを
いじっているし、歩きスマホも。

横断歩道があるのに車道を
渡る高齢者が多い。

駅の自販機は、売り上げの
一部が社協に入るっていうのが
いいと思う。

町づくり

吉富町は今後どのようなまちづくりをしていくのか。

コンパクトながら
住みやすい場所だと思う。

狭いからこそ、
逆に強みにもなる。

(議会の) 広報紙が
とてもよくなった。
わかりやすくなった。

役場前のメイン通りが
せまい。歩道がない。

小犬丸交差点から駅前交番
にかけての道が狭い。

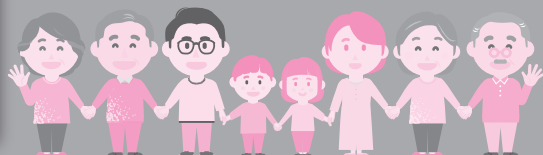
小犬丸交差点から
喜連島方面にかけて暗いので
街灯を設置してほしい。



ホームページを見ると何に力を入れているかがわかりやすい。吉富町は子育てしやすい環境を重視している。福岡から帰ってくるときに、ホームページでどの自治体は何に力を入れているか調べ、吉富町を選んだ。

今後予定の
多世代交流型複合施設は
年齢を問わず、多世代が交流が
できる施設で安心して
使えるようセキュリティを
しっかりしてほしい。

吉富町は文化財を
展示する場所がないので
歴史施設がほしい。



環境のこと

役場職員の力の入れ方や、思い
が他の地方よりもすぐ伝わる。

環境のこととゴミの分別のことが
どれくらい浸透してるのか心配。



海辺のゴミをどうにか
エネルギーに変えたい。

子どもたちにも「ゴミはエネルギーになるんだよ」「ゴミ拾い、お掃除ってかっこいいんだよ」と伝えたい。「このゴミ箱に入れたらポイントが付く」とかポイント交換できて、お店でポイントが使えたり、毎日拾っているゴミを可視化できたりすると自分が努力したことが形になる。

社会問題

これからのボランティアは厳しい。
募集しても、今の人たちは
“いくらくれる?” と言ってくる。

道路愛護の知名度をもっと上げて
「出たい」とか「出ないといけない」
という雰囲気づくりが必要。



今後更に人口減少が進んだ時にどう
いうところに人手をかけて、
どういったところをAIなり機械にする
のか。今のうちから準備をするという
ことを意識した方がいいと思う。

地域のコミュニティとしては
子ども会が機能していれば
親同士の付き合いも出てくるが、
それが今はなくなってきている。

補正予算
(第6号) **91,131,000円**

主に
こんなことに
使います

歳入

配食サービス利用者負担金
332,000円

国勢調査委託金
1,520,000円

災害対策基金利子
1,000,000円

前年度繰越金
68,942,000円

歳出

庁舎駐車場整備工事
26,828,000円

妊婦健診委託料
830,000円

オンライン窓口システム利用料
1,512,000円

測量等業務委託料
10,965,000円

子ども医療扶助費
2,000,000円

吉富小学校通学路拡幅工事に
伴う測量。緊急車両の通行等
避難路の安全確保等が目的。

条例の一部改正

吉富町議会議員及び町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例

可決

物価高騰により印刷物の市場相場が上昇したため、選挙運動用ビラの公費負担上限額を7円73銭から8円38銭に、選挙運動用ポスターを9,130円から19,800円に引き上げる改正

吉富町行政財産使用料条例

可決

土地及び建物の貸付料が近隣と比べ著しく安価であり、これを適正化するため、固定資産評価額に1.4%を乗じた金額から6%を乗じた金額に改正

吉富町水道事業給水条例及び吉富町下水道条例

可決

非常時に他自治体の指定工事店でも水道・下水道の給排水施設工事を可能とする改正

予算決算 常任委員会

令和7年度一般会計補正予算 (第6号)

Q 配食サービス利用者負担金の増額理由は？

A 当初予算では月960食を見込んでいたが、利用者の増加や利用頻度の増加がみられた。実際には1,036食程度になったため。

Q 災害対策基金の利息100万円の概要説明を？

A 災害対策基金1億円を活用して、20年国債を購入し、年率2%で年間200万円の利息収入を見込み、今回は半分の100万円計上してます。

Q 国勢調査の調査員は何人ですか？

A 調査員36名、指導員6名の合計42名です。

Q 前年度繰越金について、あとどの位ありますか？

A 2,866万5,000円です。

Q 庁舎駐車場整備工事の水路について説明願います。

A 適正な管理が出来るように、今後設計に反映していきたいと思っています。

Q オンライン窓口システム利用料についてお聞きます。

A 国が推奨しているガバメントクラウドの利用料が当初想定より増加したため。

Q 子ども医療扶助費の増額理由は？

A 春から夏にかけて医療費が多くなったためと、今後インフルエンザの流行等で不足が見込まれるため。

Q 妊婦健診委託料の増額理由は？

A 今年度4月～9月まで31名が利用しており、昨年より8人増加し助成券の使用回数も増えたことから、増額補正しています。

福祉産業建設 常任委員会

吉富町水道事業給水条例及び吉富町下水道条例の一部を改正する条例の制定

Q 指定業者ではない個人が自宅の水道や下水道の修理を行った場合には、罰則があるのですか？

A 指定工事店制度は各市町で定められており、罰則については本町にはありません。今後は適正施工のため、住民周知を強化していきたいと思っています。

令和7年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

一部質疑あり

令和7年度水道事業会計補正予算(第2号)

一部質疑あり

令和7年度下水道事業会計補正予算(第1号)

Q 債務負担行為について内容説明をして下さい。

A 令和8年度下水道工事について、設計・入札準備、施工監理、出来型確認等の一連の作業をコンサルタントに支援して頂き実施する内容です。



令和7年第3回 臨時会

(令和7年12月25日開催)

令和7年度 一般会補正予算（第7号）

可決

補正予算の追加

1億5,293万8千円

予算総額

48億4,944万3千円

■主な歳出 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用しての事業

物価高対応子育て応援手当支給事業

2,199万円

18歳以下の子ども一人当たり2万円の子育て応援手当を支給する。

Q 対象人数と支給時期を教えてください。

A 来年3月生まれまで対象となるので980人です。支給日は令和8年2月6日を予定しています。

漁業用燃油価格高騰対策事業費補助金

128万円

漁業の安定経営を図るため、漁業者に対して燃料費の一部を助成する事業。

Q 今回の対象人数は？

A 対象人数は11人を想定しています。

吉富町応援商品券事業

9,802万9千円

物価高騰に直面する町民に対する速やかな生活負担軽減と町内事業者支援を同時に実現するため、町民一人あたり14,000円分の商品券を配布する。

Q 現金ではなく商品券になった理由は？

A 現金給付では町外への消費流出が懸念されることから、町内経済の循環を促し、物価高による生活負担の軽減と地域事業者の支援を同時に図れる商品券配布が最も効果的であると判断いたしました。

Q 既存の商品券との差別化は？

A 今回の商品券は、皆様がより幅広く使用できるように今後は関係機関と連携し、使用できる場所を増やしていくようにします。

条例の一部改正

一般職の職員の給与に関する条例

可決

令和7年人事院勧告に基づく給料表の改定、期末・勤勉手当の支給月数の見直し、通勤手当の支給基準の変更を内容とする改正

Q 今回の改正を12月議会中に行えば職員に早く支給できたのでは？

A 給与法の成立が12月16日になり、本町の12月議会に間に合いませんでした。

Q 今回の改正で財政支出はどのくらい増えますか？

A 概ね3,000万円程度の増額を予定しています。財源は地方交付税措置される見込みです。

単純な労務に雇用される職員の給与の種類及び基準に関する条例

可決

全員で可決した議案		
区 分	議 案 の 内 容	結 果
第4回定例会	吉富町議会議員及び町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
	吉富町行政財産使用料条例の一部を改正する条例の制定について	
	吉富町水道事業給水条例及び吉富町下水道条例の一部を改正する条例の制定について	
	令和7年度吉富町一般会計補正予算（第6号）について	
	令和7年度吉富町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について	
	令和7年度吉富町水道事業会計補正予算（第2号）について	
	令和7年度吉富町下水道事業会計補正予算（第1号）について	
	豊前市外二町清掃施設組合の共同で処理する事務の変更及び豊前市外二町清掃施設組合同規約の変更について	
	吉富町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	
	吉富町議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	
第3回臨時会	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
	単純な労務に雇用される職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について	
	令和7年度吉富町一般会計補正予算（第7号）について	
	令和7年度吉富町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）について	
	令和7年度吉富町水道事業会計補正予算（第3号）について	
	令和7年度吉富町下水道事業会計補正予算（第2号）について	

一 般 質 問

Q 小、中学校の「不登校」対策について

向野 倍吉 議員



一般質問の詳しい議事録については、こちらのQRコードから見られます。ただし今回掲載した12月議会議事録の公開は3月の予定となります。



Q 近年増加傾向にある不登校児童数ですが、本町の現状と取り組みは。

A 10月末時点で、不登校児童数は前年度の13人から7人へと減少しました。先生方の丁寧な指導の成果と考えています。支援の柱は2つ。1つ目は、福岡県内全ての小中学校で実践されている不登校対策「福岡アクション3」で、児童生徒の状況を3つのステージに分けて段階的に対応する仕組みです。2つ目は、専門スタッフの活用による関係機関及び家庭の専門家と福祉の専門家を配置し、児童や保護者だけでなく、先生方への研修や相談にも対応しています。目指すべきは全員登校であり、従来の取組に加え、さらに指導の充実を図ってまいります。

Q 教育長は、吉富町の子どもたちの成長にどのような理想像をお持ちですか。

A 子どもたちが笑顔で「早く学校に行きたい」「友達に会いたい」と思える学校を目指しています。子どもたちが夢を見つけ挑戦し、自分を大切にしながら町や家族を思う心を育むことが教育の根幹です。この理念のもと、「こどもまんなか」の考えを推進し、安心して通える学校づくり、そして地域とともに育つ教育の実現に努めていきます。

その他の質問

- 個人版ふるさと納税の現状と今後の取組について

Q 多世代交流型複合施設「まちのリビング」 基本設計について

岸本 加代子 議員



Q 学童施設の建設年月日及び耐用年数は。

A 平成28年2月29日完成で、省令により耐用年数は22年と規定されています。

Q 学童施設を取り壊さず、学童との交流も視野に入れた設計するべきではないでしょうか。

A 基本設計開始時は、複合施設の計画地内に学童施設を残置する前提として計画を進めていきましたが、設計事業者の見解として、改めて学童の在り方を検討した際に、対象児童の移動への安全性を担保でき、かつ学校の校庭を利用できる小学校敷地内への建て替え案が提案されました。

Q 既存の学童施設は比較的新しく、まだ十分に使えるかと思いますが。

A 20年、30年を見据えたところで考えたときに、将来その施設を使う人の見方が優先されるのでは

ないかという設計士側の考え方に町も賛同したところでは。

Q 基本構想・基本計画は、町民アンケートや公聴会に基づくもの。基本設計は、基本構想・基本計画に沿って行う必要があると考えますが。

A 基本構想に基づく施設コンセプトを中心に、利用者や市場性の現状を反映した基本計画を策定。基本計画における施設の特性、持たすべき特徴、利用に伴う意見等を基に、敷地要件や予算規模に応じた基本設計を策定する段階で、こういった状況になった。



Q 多世代交流型複合施設の基本設計について

角畑 正数 議員



Q 基本計画では2階建てだったものが、1階建てに変更になった理由は。

A 建設物価の上昇から施設規模・コスト縮減を再調整した結果、必要機能の再整理により平屋建てに収まるという見通しと、太陽光発電の設置増加による将来のランニングコストの縮減が図れることなどから判断した。

Q 2階建ての設計案で盛り込まれていたフィットネスジムが、1階建ての案では盛り込まれていない理由は。

A 取りやめとなったわけではない。隣接町に大規模フィットネス施設もあり、簡易的なジムや施設周辺の遊歩道化など、町に合った健康増進機能の在り方を引き続き検討する。また、チョコザップの提案も今いただいている。

Q 9月議会で町の財政は健全と言われていたが、

多世代交流型複合施設と学童施設の新設に係る財政的な裏付けは。

A 内閣府の交付金を活用。4年間の整備予定として採択され、他にも、財政的に有利な起債や交付金の活用を検討していきたい。大きな事業費が生じることはあらかじめ想定しており、計画的に歳出削減や歳入の確保に取り組んできた。将来の町の財政に支障が生じることがないように、財政面での裏付けは十分に考慮しながら取り組んでいる。

学童施設は、国・県よりそれぞれ3分の1ずつの補助。町の負担は3分の1となる見込み。



Q 移住、定住化施策の更なる展開について／事業承継の支援について

丸谷 宏一 議員



Q 若い世代、子育て世代に続く切れ目ない支援として、40代～60代の子育てが落ち着いた方や単身・ご夫婦だけの現役世代の方が、吉富町での暮らしに満足感を実感できる施策は。

A 現在実施しているスポーツ・生涯学習施策のほか、新たに「住み開き」事業の実施を計画している。住民の方が趣味や特技を活かして教室を主催するもので、町中に人と人、人と文化の新しい出会い、つながりを生み出す場づくりを目指す。

また、今後取り組みたいサービスとして、人間ドックの助成、町内外のお風呂や温泉助成券の発行、通勤電車費用の助成、町民限定の吉富駅月極駐車場の設置、就活費用助成、リフォーム助成などを考えている。

Q 定年後、都市部から地方に移住したいと考えている方を呼び込む施策は。

A 現在本町が行っている全てのサービスを分かりやすく一覧にまとめたパンフレットの作成や、それをSNSで広くPRすることが重要と考えている。

Q 地域経済を支えてきた地元事業者の事業承継を支援するための施策は。

A 事業所が新たな取組を行う場合に使える補助金はあるが、町単独の事業承継支援制度は設けていない。現在、吉富町商工会に加入後10年経過した事業所へのお祝い金の支給や町内事業者の世代交代時にお祝い金支給、設備投資を行う場合の支援金などを検討している。



Q 農業振興地域制度の在り方と土地利用の公平性について／農家を守るための未来の農業政策について／あさり・干潟の再生とウェルビーイングについて

新保 祐介 議員



Q 農業振興地域（以下農振）はいつ、どのように線引きされ見直しは。

A 昭和49年に225ヘクタールを農用地区域に指定。線引きの見直しは、除外の申し出を基に年2回行っている。

Q 農振として農地面積の基準は。

A 確保する目標面積の設定はない。

Q 後継者不足で農業を辞めたい場合、農地を宅地転用はできないのか。

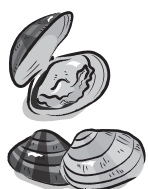
A 優良農地の確保及び無秩序な土地利用に対する規制の観点から、大規模に集約化された農地内に農地を所有される方には、宅地化に当たって不自由を強いる形となるが、ご理解をお願いしたい。

Q 若い人が農業に参入しやすい環境づくりのための取組は。

A 資材費などの経費に対して交付する振興作物推進事業補助金など、近隣にはない独自の施策を展開。販路開拓としては現在、全国的に有名な京都の神社などから、本町の紅はるかを活用した土産品のオフアームも、町長を介し届いている。

Q あさり増殖には何人の漁業者が関わり、新規参入するにはどうしたらよいか。

A 漁協組合員は現在62名、内33名があさり増殖に関わっている。営利目的でなければ、地域の海を守る取組として活動参加に法的制限はない。あさり漁に従事するとなれば漁協の組合員となり、漁業権を得ることが必要。研修や審査など所定の手続を経た上で漁に従事するという流れ。



吉富町議会議員給食試食会

日時： 令和7年10月10日(金) 会場： 吉富小学校

内容： 議員も給食費を払い試食し、安全・安心な食事を実際に味わうことで、給食への理解を深める活動をしています。



京都郡議長会主催 議員研修会「日本の政局と今後の展望」

日時： 令和7年11月7日(金)

会場： 行橋市(行橋京都自治会館)

講師： 岩田 公雄 氏 ジャーナリスト 学校法人学習院シニアフォロー

田川郡議長会主催 議員研修会「町民に信頼される対話と発信の技術」

日時： 令和7年11月21日(金)

会場： 川崎町勤労青少年ホーム

講師： 竹原 裕美 氏 (株) 凜華社 代表取締役

○ Techno-Ocean 2025 ～海と生きる～ への視察・参加

実施： 令和7年11月29日(土)

場所： 神戸国際展示場(兵庫県)

「国立研究開発法人海洋研究開発機構(JAMSTEC)」ブース他(出展93件)

内容： JAMSTECの百留博士(豊前市出身)から海洋工学の説明を受け、質疑形式で理解を深めた。



「うらしま8000」(提供JAMSTEC)

百留博士からのコメント

「海は広くて、深くて、見えない世界なため、まだまだ未(魅)知なことで溢れています。私は、水中ロボットを作って、深い海から新しい生き物、新しい資源、未解明な地球の動きなどなど、日本にとってのお宝(未知なもの)を発見する手伝いをしています。」

表紙について

11月2日、商工会主催の産業祭会場で、議会報告会「気ままに・わが町トーク」を初めて野外開催しました。イベント内で実施したことで参加しやすく、27人が参加。「思っている事を話せて、良い時間を過ごせました」「また参加したい」などといった声が多く寄せられました。今後も町民との対話を大切にしていきたいと思います。

○ ～戦後 80 年を迎え～ 平和についての再確認視察

実施： 令和7年11月5日(水)

会場： 宇佐市平和資料館／城井1号掩体壕 等



宇佐市平和資料館を視察して、近くにこのような資料(写真や実物の飛行機等)が保管展示していることを詳しく知らなかったため、視察を行って驚かされることが多かった。我々も頻繁に宇佐市を訪れているが、日頃見慣れている景色がこの日は違うものに見えた。

戦後80年、平和で物質的にも恵まれた今、昭和の高度成長期が始まる僅か20年前を振り返り、あってはならない現実をみて改めて平和への想い、大切さを強く感じた。このような歴史が二度と繰り返されないためにも、後世に語り継ぎながら残していかなければならない貴重な施設を見ることができ、大変意義のある視察となった。

